

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

八王子市教育委員会からの緊急メッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年3月2日からの臨時休業の措置を始め、急を要する対応につきまして保護者・地域の皆様に多大なるご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

4月は、新年度の始まる時期です。規模は縮小したものの、温かい雰囲気の中挙行された入学式で、新しい生活に胸を膨らませる新入生の笑顔は、例年と変わらず輝いていました。

今は、新しい環境、新しい仲間、新しい教員などに慣れるための大事な時期です。

厳しい状況が続く中ですが、子どもたちが安心した学校生活を送れるよう、市教育委員会も全力を尽くしてまいります。保護者・地域の皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

第一小学校入学式（4月6日）



八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

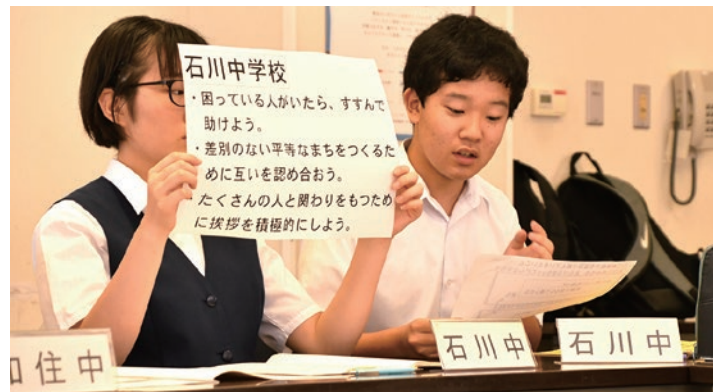
24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310

なやみ言おう



中学生サミットで各校が意見交換

このほか、市内の中学生が意見交換する中学生サミットを毎年開催。決められたテーマに対して自分たちが何に取り組むべきかを提示し、意見を交換する。また、部活動では、子どもたちの自主性や協調性も育てます。令和2年度は、部活動指導員の配置をこれまでよりも4校増やし12校にするなど、さまざまな支援を行っています。

豊かな心を育て
人との関わりの中で生き、これからの社会を創っていくためには、自信を持って、さまざまなことに挑戦するとともに、他者を思いやる豊かな心を育むことが大切です。近年はSNSの普及など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、いじめや不登校などの問題を家庭や学校だけで解決することが難しくなっています。



集団の中で生きる力を学ぶ

「第3次八王子市教育振興基本計画」を策定

自分の「みち」を 自信を持ってあゆむ力を育むために

情報技術の急速な発展や国際化の進展など、現在の社会は大きな変化を迎えています。市教育委員会では、大人も子どもも全てのひとが自分らしい「みち」を見つけ、生涯にわたって学び続けられるよう今後10年間を通じてめざす教育の姿を掲げ、令和6年度までの5年間に取り組む施策をまとめた「第3次八王子市教育振興基本計画」を策定しました。

今号では、計画の実現に向けて、令和2年度に新たに実施する取り組みを中心に紹介します。
問 学校教育政策課 (☎620・7403 ㊟627・8811)



「今後10年間を通じてめざす教育の姿」



外国人選手から直接指導を受けて



給食を通して正しい食習慣を

健康なからだをつくって
生涯にわたって健康的な生活を送るために「生きる力」を支える健康なからだづくりや基礎体力を養う教育を行います。本市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、学校ごとに特色ある取り組みを実施し、子どもたちのスポーツに親しむ態度を育成します。また、がんについての基本的な知識を身に付けるため、学習指導要領に基づき、がんを経験された方や医師による授業を行い、健康やいのちの大切さについて主体的に考えるがん教育を推進します。

また、正しい食習慣は子どもたちの健康なからだをつくることに、食に感謝する豊かな心を育みます。中学生に安全・安心で温か

い給食を提供するため、学校給食センター「はちっこキッチン」が元八王子と南大沢の市内2か所に完成。令和2年度から稼働を開始し、周辺の11校に給食を提供します。学校給食センターは、郷土愛を育むため地産地消を推進し、災害時には食事を提供するなど、地域をつなぐ「食」の拠点としての役割も担います。



生きた英語に触れて



ICTを活用した主体的な学習を

社会で活躍できる人材を
子どもたちが国際社会で活躍するためには、積極的に外国の人とコミュニケーションを図るとうとする意識を高めることが重要です。ALT（外国語指導助手）との生きた英語に触れる授業に加え、市独自で小学校高学年向けの音声教材を開発し、インターネット上で公開しています。また、令和3年度までに、中学3年生を対象として英会話アプリケーションを導入し、子どもたちの英語を聞く力や

話す力を高めます。情報化の進展により、ICT（情報通信技術）を活用できる人材の育成も求められています。令和2年度からは、ICT機器の使い方や、課題を解決するために必要な論理的に考える力を養うプログラミング教育が始まります。これにあわせて、学校で子どもたちが1人1台のパソコンを使用できるように校内のネットワーク環境の整備と端末の配備を行う「GIGA（ギガ）スクール構想」を推進。社会で活躍できる人材を育成します。

はちおうじっ子の「生きる力」の育成

めざす教育の姿1

学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

子どもたちの成長を支えて

子どもは家庭の中だけでなく、学校や地域のさまざまな人たちと関わり、見守られながら成長していきます。そのためには、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、未来を担う子どもたちの成長を支えていく「地域学校協働活動」を推進していくことが重要です。

本市の「放課後子ども教室」では、小学校の施設を活用し、地域の方々などの協力により放課後の居場所づくりを行うとともに、子



放課後にみんなと一緒にスポーツをして



防災について地域の人と考えよう

どもたちにさまざまな学びや体験の機会を提供しています。

令和2年度は、週5日実施する学校を増やすほか、実施時間を延長するなど、子どもたちの安全・安心な居場所づくりをさらに進めます。

また、学校と地域が連携して防災訓練などを行い、子どもたちと地域の人たちが一緒に、自分たちの住む場所をよりよくするために必要なことを話し合うなど、学校を拠点とした地域交流の機会を充実させていきます。

めざす教育の姿3

いくつになってもともに学び続けられる生涯学習環境の充実

人生100年時代を豊かに

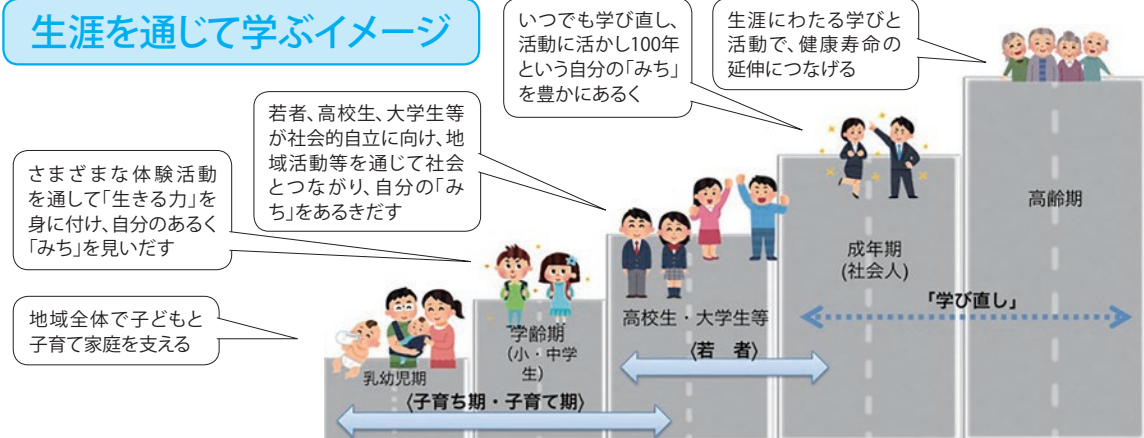
日本は健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えています。長い人生を豊かに送ることができるよう、若者から高齢者までの全ての人が学びたいときに学び、学んだ成果を活動に活かせる、生涯にわたって活躍できる環境づくりが大切です。

本市では、生涯にわたる豊かな学びを実現するため、さまざまな講座・教室で学習の機会を提供しています。令和2年度は、社会人や高齢者が学び直す「リカレント教育」の取組の一環として、関連する機関などと連携して学び直しに役に立つ情報を集め、提供するウェブサイトを構築します。



学んだことを自分のキャリアに活かそう

生涯を通じて学ぶイメージ

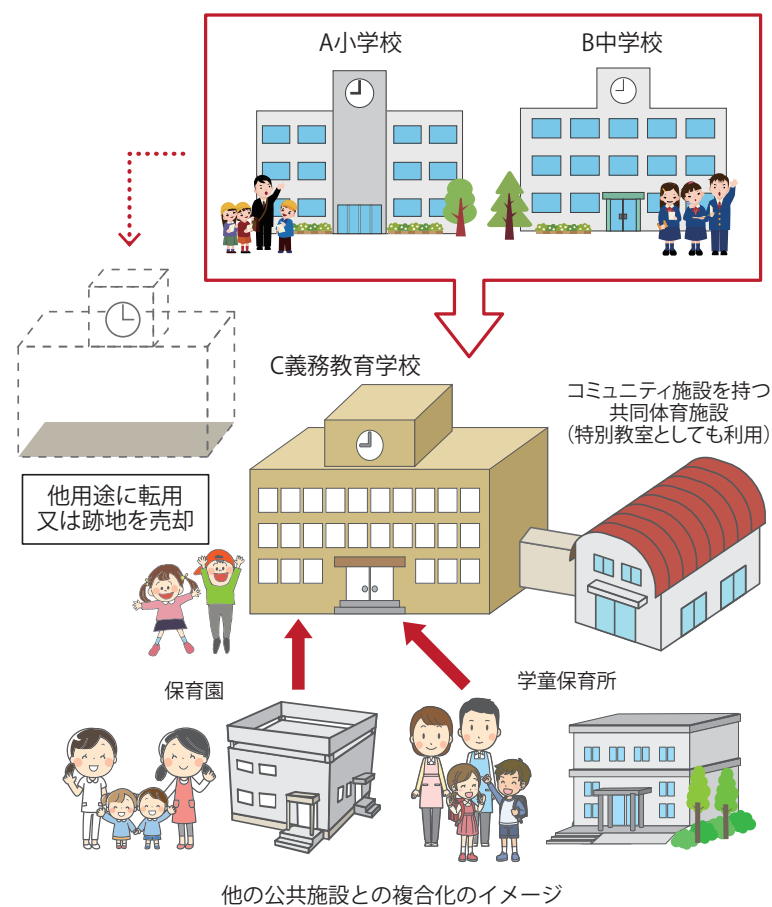


地域で学校のあり方を考える

本市では、107の小・中・義務教育学校を設置していますが、およそ80%の学校が建設後30年を経過していることから、計画的に改修・改築をしていく必要があります。

また、児童・生徒の数は、ピーク時に比べて約40%減少しており、全学年が1クラスの小規模校が今後増えることが見込まれます。

子どもたちにとって充実した



教育活動を実施するためには、一定の規模が必要です。

その一方で学校には地域コミュニティの拠点という役割もあることから、地域の実情に応じた学校の適正な配置を行うことが重要な課題となっています。令和2年度から本格的にスタートする地域づくり推進事業では、中学校区ごとに地域とともに必要なサービスや施設のあり方について議論し、まちづくりと連動した学校の再編を進めていきます。

生涯スポーツ社会の実現

スポーツは私たちにさまざまな効果をもたらします。個人の体力向上や健康維持・増進に寄与するだけでなく、スポーツを通じた人と人との交流は、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいづくりにつながるものとして期待されています。

子どもだけでなく、高齢者や障

害者など、それぞれのライフスタイルなどに応じたスポーツをする機会を設けることで、市民のスポーツへの関心を高め、誰もが日常的にスポーツに取り組むことが大切です。

子どもたちの競技力を向上するジュニア育成や、スポーツ推進委員による障害者スポーツの推進など、地域におけるスポーツ活動を支援していきます。



ポッチャを楽しんで



アスリートから走り方を学んで



体操で健康づくりを



第11回中学生「東京駅伝」大会 市選抜チームが男女総合2位！

令和2年2月2日に開催された「中学生『東京駅伝』大会」で、市内の中学校から選ばれた42人のチームが、男女総合で第2位(女子の部で第2位、男子の部で第3位)の好成績を収めました。

男子チームはこれまでの最高タイム(2時間20分33秒)を37秒更新する2時間19分56秒を記録し、特別賞も受賞しました。

選抜チームは「心はひとつ 八王子」を合言葉に10回の練習を行い、選手間でのタイム測定や、たすきの受け渡しなど、チーム内の連携を強化し大会に臨み、見事に結果を残しました。

問 指導課(☎620・7405、FAX627・8811)



好成績を収めた選手たち



チームでゴールをめざして



八王子の歴史文化を未来へ

先人たちの知恵と技術によって守り受け継がれてきた八王子の歴史文化は、私たちのふるさと八王子の宝となっています。そして、八王子に暮らす私たち一人ひとりがこの宝の魅力を知り、守り、未来へとつないでいくことで、八王子の未来が創られます。

魅力ある八王子の歴史文化を、次代を担う子どもたちへ、そして100年、200年先の未来へと引き継ぐために、八王子市歴史文化基本構想「八王子の歴史文化 百年の計」を策定しました。この構想は、歴史文化を活用しながら保存・継承し、まちづくりに活かしていくための“道しるべ”です。

構想には、八王子のさまざまな歴史文化の魅力をわかりやすく、親しみやすく紹介した10の物語「はちおうじ物語」を掲載しています。また、実際に歴史文化を保存・活用・継承している市民の皆さんの活動事例も多く紹介しています。この構想を通じて、多くの皆さんに八王子の歴史文化を身近に感じていただくとともに、歴史文化に関するさまざまな活動に触れ、興味を持ち、参加する方が増えていくように、市ではさまざまな取り組みを進めていきます。

原始時代から人々が暮らし、武士たちがまちの礎を築き「桑都」と呼ばれ「織物のまち」「宿場町」として発展してきた八王子には、身近なところにさまざまな歴史文化の痕跡が残され、今日に受け継がれています。この構想をきっかけにして、桑都・八王子の歴史文化に親しみ、ふるさと八王子の未来を創っていきましょう。

問 文化財課(☎620・7265、FAX626・8554)

知
っ
て
お
き
た
い

八
王
子
の
史



歴史文化基本構想 冊子



家族や友達と一緒に読書を楽しんで

読書を身近なものに

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、読書活動は欠かせないものです。

本市では「『いつでも、どこでも、だれでも』読書に親しめるまち八王子」をめざし、乳幼児から高齢者まで全ての世代の読書活動を切れ目なく支援していきます。

また、多様化する図書館ニーズに対応するため図書館と市民、さまざまな関係団体による連携を通して、利用者目線の身近な読書環境の整備や、図書館の利用が困難な方への読書環境の整備を図っていきます。

ユニバーサルデザイン

高齢者や障害者の方にも気軽に読書に親しんでもらうため、安心して読書を楽しむ環境を整備するほか、来館が困難な方への本の宅配などを展開します。

どこでも本を楽しめる環境を

ブックスタート

赤ちゃんの3～4か月時の健康診査の際に、赤ちゃんと保護者に対し、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行うことで、乳幼児から本に親しみます。

絵本で親子のふれあい



豊かな学びを支える3つの計画を策定

本市の基本計画である「八王子ビジョン2022」が掲げる「生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」の実現に向けて、令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)の5年間を計画期間とする3つの計画を策定しました。

第3次八王子市教育振興基本計画

問 学校教育政策課 (☎620・7403 FAX 627・8811)

八王子市生涯学習プラン

問 生涯学習政策課 (☎620・7334 FAX 626・8554)

第4次読書のまち八王子推進計画

問 南大沢図書館 (☎679・2201 FAX 679・2211)



各計画は市役所や市民センター、図書館などで閲覧できるほか、市ホームページでもご覧いただけます。

教育委員会からのお知らせ

教育委員会定例会を開催

令和2年1月から3月まで定例会を6回開催しました。主な内容をお知らせします

【議案】

○第3次八王子市教育振興基本計画について

○八王子市立学校に係る部活動の方針について

【請願】

○「新型コロナウイルス感染防止のための一斉休校に関する請願」について
○「新型コロナウイルス感染拡大防止による一斉休校についての請願」について

【報告事項】

○八王子市生涯学習プランについて
○第4次読書のまち八王子推進計画について

定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。
問 教育総務課(☎620・7323、
FAX 627・8811)

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
4月22日(水) 午前9時30分～	市役所 本庁舎
5月20日(水) 午前9時30分～	
6月3日(水) 午前9時30分～	

新入学のご案内を送付

令和3年4月に市立小・中学校へ入学するお子さんのいる家庭を対象に「新入学のご案内」を4月下旬に送付します。通学区域の指定校情報や学校選択制度、指定校変更制度、就学時健康診断など、入学にあたり必要となる手続きについてご案内しています。保護者の方は、必ず内容をご確認ください。

問 教育支援課(☎620・7339、
FAX 627・8813)

就学援助の申請を

3月に「新入学準備金」の支給を受けた方で、入学後も就学援助を希望する場合には、別途、申請書の提出が必要です。また「新入学準備金」が不支給だった方でも、就学援助制度の認定を受けられる場合があります。

問 教育支援課(☎620・7339、
FAX 627・8813)

教育委員会表彰

市教育委員会では、教育やスポーツ、文化の振興と発展に貢献し、その功績が顕著な方や模範となる成績を収めた方を表彰しています。表彰された方の氏名など、詳しい情報は市のホームページをご覧ください。

問 教育総務課(☎620・7329、
FAX 627・8811)

総合教育会議

総合教育会議は、市長と教育委員会が教育に関する課題などを共有し、より一層市民の声を反映した教育行政を推進することを目的に開催しています。令和元年度は会議を3回開催し、市長と教育委員会が意見を交換しました。主な内容をお知らせします。

【協議内容】

○いじめの再発防止に向けた取り組みについて

○教育・子育て等関連事業について
○「地域づくり推進事業」について

議事録など、詳しくは市のホームページをご覧ください。また、令和2年度は会議を3回開催する予定です。会議は原則公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。

問 総合経営部経営計画第二課(☎620・7306、
FAX 627・5939)

令和2年度の会議開催日程(予定)

日時	会場
第1回 6月3日(水) 午後1時30分～	市役所 本庁舎
第2回 10月14日(水) 午後1時30分～	
第3回 令和3年2月9日(火) 午後1時30分～	

いずみの森義務教育学校開校

令和2年4月1日に、小・中学校9年間の学びを1つにした多摩地域初となる義務教育学校「いずみの森義務教育学校」を開校しました。

1学期の間は、旧第六小学校と旧第三中学校の校舎を使用し教育活動を行います。2学期からは新校舎での授業を開始します。今後も子どもたちや地域の安全を第一に整備を進めていきます。

問 学校複合施設整備課(☎620・7475、
FAX 627・8811)

手洗いや咳エチケットを

新型コロナウイルス感染症の防止には外出先からの帰宅時や調理前後などに、石けんを使ってしっかりと手を洗うことが大切です。また、咳やくしゃみをするときには、マスクやティッシュ、ハンカチで口元を押さえるなど、日頃から咳エチケットを心がけましょう。

